

教師への道、
京都府が応援します。



『教師を目指す学生』 支援プログラム

教員養成 サポートセミナー

教員に必要な実践力を
身に付けるための
大学と連携した約半年間の
インターンシップ

京都府 「教師力養成講座」

京都府の公立学校の
教員を目指す学生が、
実践力をさらに
高めるための講座

学生 ボランティア

京都府公立学校に
おける教育
ボランティア

令和3年度からの
新プログラム

京都府 「はんなり」教員養成プログラム

生徒目線から教師目線へ
1日からの教員養成プログラム



京都府「教師力養成講座」

京都府「教師力養成講座」は、教員養成サポートセミナーや学生ボランティア等を経験し、京都府の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教員を目指す学生を対象に、本府の優れた実践を学ぶ機会を提供するとともに、演習校において高度で充実した演習を実施することにより、採用後に即戦力となり得る教師力を養成するものです。

本講座を良好な成績で修了し、所属大学の推薦を得た学生については、該当の校種・教科における「京都府『教師力養成講座』修了生に係る大学推薦特別選考」の対象にすることとしています。

「夢・未来」講座



- 「学級経営」「児童生徒理解」「教育課題」といった、教員として知っておくべき知識等について、学校現場の実践に基づいた特別講義を実施
- 講師は、それぞれの分野において卓越した指導力を持つ、ベテランの現職教員等
- キャンパスプラザ京都（ＪＲ京都駅前）を主な会場として、月３回程度、午後６時半から実施

実施期間 ■ ２月から６月まで

主な出願資格

- 京都府（京都市除く）公立小・中・義務教育学校、京都府立高等・特別支援学校の教員を強く志望していること。
- 大学３回生、または大学院１回生等
- 次のいずれか１つに該当している方
 - ◆ 教員養成サポートセミナー修了者
 - ◆ 大学の教職インターンシッププログラムの修了者
 - ◆ １０日以上以上の学校におけるボランティア経験者（校種は問わない。またスクール・サポート・スタッフ、学習支援員等として任用され、勤務した期間も含む。）

出願方法

- 所属する大学を通じて必要書類を提出してください。（必要な書類は募集時期（１０～１１月中旬）にホームページに掲載するとともに大学に送付します。選考日は１１月下旬以降を予定）

受講料 ■ 無料

※記載している内容は第１４期生の内容（Ｒ３.２～Ｒ３.６実施）のため、変更する場合があります。

教育実践演習



- 演習校では学生指導専任の指導教員がサポート
- 約半年間にわたり、授業、学級活動、学校行事など様々な場面で実践演習を行う。
- 教科、特別の教科 道徳、特別活動などの研究授業も行い、実践的な経験を積み重ね、教員として求められる実践的指導力の向上を図る。

修了生の声

教師力養成講座の最大の魅力は、「実践を通して学ぶ」ということだと思います。今、私が自信をもって教壇に立ち、生徒と関わる事ができているのは、どんなことでも臆せずに挑戦して得た「学び」という武器のおかげです。この武器は、教師力養成講座でのサポートなしでは得ることができなかったものです。「夢・未来」講座で得た知識と教育実践演習での体験が結びつくことで、未来につながる確かな力を身につけることができました。

（京都府立鴨沂高等学校 教諭 櫻井 華梨・第１１期修了生）

「夢・未来」講座は、学級経営・生徒指導などの講義がありました。他校種の仲間と議論し、視野を広げることができました。また教育実践演習で卒業と入学の節目を経験し、約４ヶ月間生徒と関わる事ができ、生徒の成長を見ることができました。



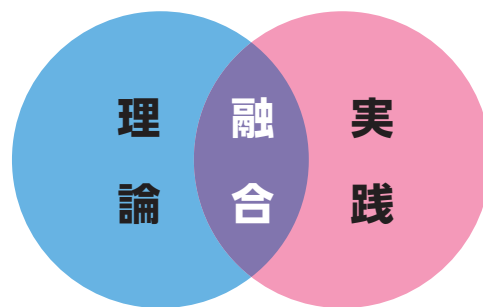
この講座を通して、多くの生徒や先生方、そして同じ志を持つ仲間と出会えました。今でもその繋がりは自分の支えになっています。ぜひこの講座を受講し、素敵な教員を目指してください。

（城陽市立南城陽中学校 教諭 中小路 崇仁・第１１期修了生）

教員養成サポートセミナー

教員養成サポートセミナーは、教員を目指す大学生が学校現場での演習を通して理論と実践を結び付け、実践的指導力を身に付けていくことを目指して、京都府教育委員会と大学が連携して実施しているインターンシップです。

例年、多くの学生が参加し、約半年間の演習を通して実践的指導力を身に付けるとともに、子どもの成長に立ち会うことで教師という仕事の魅力を感じています。



◆ 教育実習とどう違う？

- 演習校では学生指導専任の指導教員がサポート
- 授業だけでなく、教員の職務全般について広く経験
- 長期間の演習を通して子どもの成長を実感

◆ 京都府教育委員会と独自に連携している大学で実施しています。

- | | |
|----------|-----------|
| ● 京都大学 | ● 京都教育大学 |
| ● 滋賀大学 | ● 同志社女子大学 |
| ● 奈良教育大学 | ● 佛教大学 |
| ● 立命館大学 | ● 大谷大学 |
| ● 龍谷大学 | ● 京都府立大学 |

※詳細は各大学にお問い合わせください。



教員養成サポートセミナーに参加して

教員養成サポートセミナーでは、公立学校で演習を行い、子どもたちと関わりながら学ぶことができます。私もサポートセミナーに参加させていただき、子どもたちの多様性を実感しました。また、多様性を把握して、個別指導と全体指導をされている先生を見て、児童理解の大切さを学びました。大学での学びと現場での経験を混ぜて活動することができ、教員として大切にしたいことを見つけられると思います。是非参加してみてください。



(八幡市立くすのき小学校 教諭 松岡 耕生・平成 30 年度参加)

実際に教育現場に入り、授業や教材づくりの工夫、仕事の裏側を見ることで、曖昧だった教員の仕事を知ることができ、夢を明確にもつことができました。教員一年目で分からないことばかりの中、担任として子どもたちと接していくことになります。サポートセミナーで学んだ経験が今の自分を支えてくれています。サポートセミナーに参加して良かった、その一言に尽きます。



(京都府立南山城支援学校 教諭 古和田 穂乃香・平成 30 年度参加)

—— 京都府「教師力養成講座」・教員養成サポートセミナー演習校(令和3年度) ——

- | | |
|---------------|--------------|
| ・向日市立向陽小学校 | ・城陽市立久津川小学校 |
| ・向日市立第4向陽小学校 | ・八幡市立くすのき小学校 |
| ・長岡京市立長岡第九小学校 | ・京田辺市立田辺小学校 |
| ・大山崎町立大山崎小学校 | ・木津川市立高の原小学校 |
| ・宇治市立宇治小学校 | ・亀岡市立大井小学校 |
| ・宇治市立菟道小学校 | ・南丹市立園部第二小学校 |

- ・宇治市立宇治中学校
- ・宇治市立東宇治中学校
- ・城陽市立城陽中学校
- ・城陽市立西城陽中学校
- ・亀岡市立詳徳中学校

- ・京都府立山城高等学校
- ・京都府立鴨沂高等学校
- ・京都府立洛東高等学校
- ・京都府立南陽高等学校
- ・京都府立宇治支援学校
- ・京都府立八幡支援学校

※大学等により実施校が異なります。

—— 京都府「教師力養成講座」・教員養成サポートセミナーに関心をお持ちの方 ——



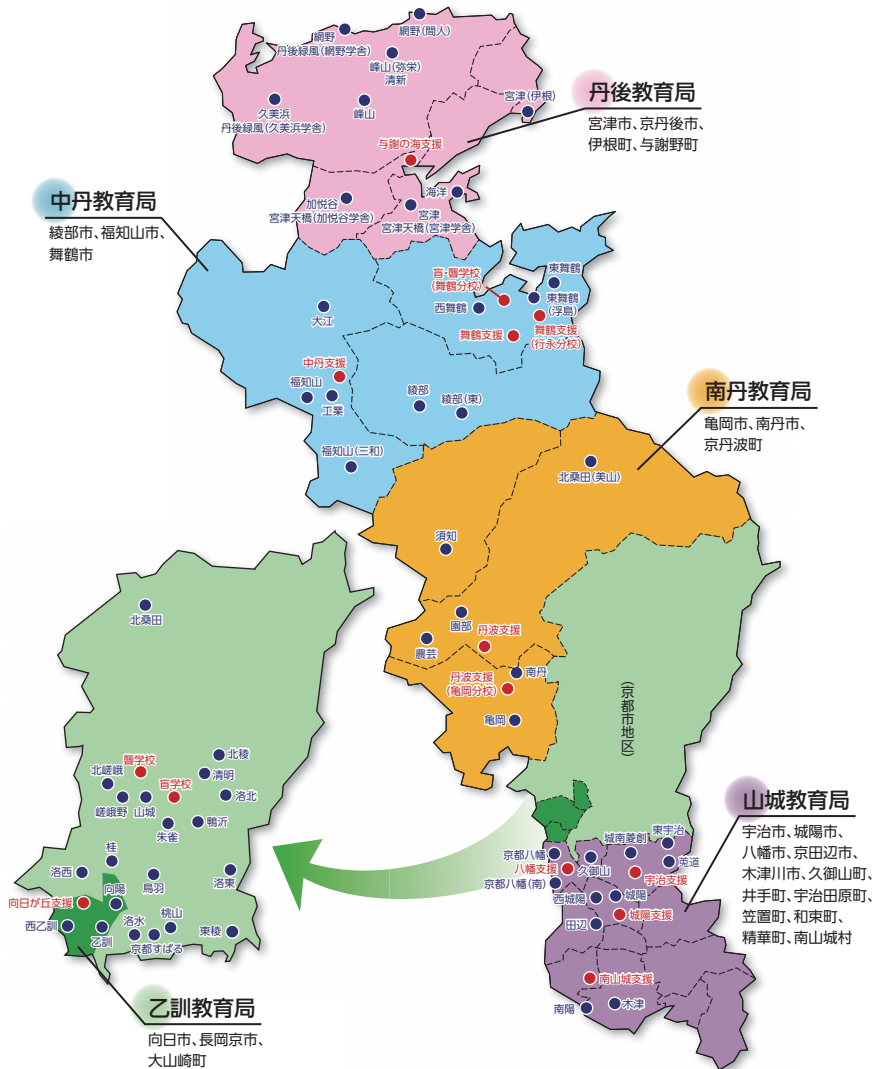
【問い合わせ先】 京都府「教師力養成講座」事務局
TEL : 075-414-5784
HP : <http://www.kyoto-be.ne.jp>



学生ボランティア

京都府内の公立学校において、放課後の補習やクラブ活動など、子どもの教育に関わって学校を支援していただくため、学生ボランティアを募集しています。

学生の若さあふれる力は学校からも期待されており、また、将来教職を目指す人にとっても、学校現場を知り、教師という仕事にじかに触れることのできるまたとない機会です。



〈小・中・義務教育学校〉

丹後教育局
丹後スクールボランティア
活用推進事業

0772-22-2175

最寄り駅: 京都丹後鉄道宮津駅



中丹教育局
中丹サポートメイト

0773-42-1200

最寄り駅: JR綾部駅



南丹教育局
南丹まなびサポート事業

0771-62-4312

最寄り駅: JR園部駅



山城教育局
学生パワー活用事業

0774-62-0148

最寄り駅: 近鉄新田辺駅・JR京田辺駅



乙訓教育局
学校支援ボランティア

075-933-5130

最寄り駅: 阪急西向日駅



〈府立高校・特別支援学校〉

高校教育課
大学生教育ボランティア

075-414-5858

最寄り駅: JR丹波口駅



登録手続について

京都府内にある乙訓・山城・南丹・中丹・丹後の5つの教育局及び高校教育課において、年間を通じて大学生のボランティア登録を受け付けています。

活動いただく際のボランティア保険の費用についてはこちらで負担します。また、交通費を一部補助するなどの支援制度もあります。まずは、お問い合わせください。

主な活動内容

- 授業の指導補助
- 放課後の補習授業での支援
- クラブ活動・部活動の支援
- 児童生徒の宿題の添削補助
- 校外学習の引率補助
- 学校行事への参加 など

京都府「はんなり」教員養成プログラム

生徒目線から教師目線へ
1日からの教員養成プログラム
教師の仕事、
「はんなり」経験してみませんか？

令和3年度から、高等学校教員希望者を対象に多忙な大学生が自身のライフスタイルに合わせて学校を体験できる新しい教員養成プログラムを実施します。

詳細は別途発行する募集案内、実施要項等をご覧ください。